

平成 25 年度 大学コンソーシアムえひめ共同授業

「豊かさ」について考える in EHIME

～「人・もの・社会」を育むクオリティデザイン～

豊かな社会づくりにむけて、持続可能な社会、大学による人的育成、身体と健康、食生活、高齢者や障害者への福祉的支援、国際社会と住民主体の開発など、多様な内容を取り上げ、「人・もの・社会」を育むクオリティデザインのあり方について理念と実践の両面から学んでいきましょう。

開催期間:平成25年9月2日(月)～9月5日(木)

予備日:平成25年9月6日(金)

開催場所:愛媛大学グリーンホール

参加大学:大学コンソーシアムえひめ参加校 11 大学

愛媛大学、松山大学、松山短期大学、聖カタリナ大学、
聖カタリナ大学短期大学部、愛媛県立医療技術大学、
今治明德短期大学、環太平洋大学短期大学部、
松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、
放送大学愛媛学習センター

問い合わせ:各大学の教務課まで

平成25年度

大学コンソーシアムえひめ共同授業

手引き

自 : 平成25年9月2日(月)

至 : 平成25年9月5日(木)

予備日 : 平成25年9月6日(金)

場所 : 愛媛大学グリーンホール

当番大学 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

参加大学 愛媛大学、松山大学、松山短期大学、

聖カタリナ大学、聖カタリナ大学短期大学部、

愛媛県立医療技術大学、今治明德短期大学、

環太平洋大学短期大学部、

放送大学愛媛学習センター

平成25年度 大学コンソーシアムえひめ共同授業 シラバス

科目番号	
授業科目の区分等	それぞれの大学によって位置づけは異なる
対象学生	愛媛県内にある大学のすべての学部・短期大学の全学年対象
授業形式	集中講義
開講時期	平成25年9月2日(月)～9月5日(木) 但し、平成25年9月6日(金)は予備日とする。
授業題目	『豊かさ』について考える in EHIME ～「人・もの・社会」を育むクオリティデザイン～ Thinking About the Concept of “Richness” in Ehime: Cultivating quality design for individuals, communities, products and services
担当教員	森日出樹(Mori, Hideki)、松浦一悦(Matsuura, Kazuyoshi)、平田桂一(Hirata, Keiichi)、小林修(Kobayashi, Osamu)、椿武(Tsubaki, Takeshi)、高杉公人(Takasugi, Kimihito)、窪田静(Kubota, Shizu)、高阪悌雄(Takasaka, Yasuo)、藤田正隆(Fujita, Masataka)、伊藤俊輔(Ito, Shunsuke)、垣原登志子(Kakihara, Toshiko) (担当順)
授業のキーワード	豊かさの価値転換 (value shift in the concept of richness)、持続可能な社会 (sustainable society)、QOLの向上 (enhancement of quality of life)、運動と身体(physical exercises and health)、食と健康 (diet and health)、福祉的支援 (social support for well-being)、貧困と開発 (poverty and development)
授業の目的	これからの地域社会と国際社会を創造するうえで目指すべき「豊かさ」のあり方を考え、多様な人々の生活の質を高めてそれを持続できるような社会を育む方策を探るために、 1. 国際社会と地域社会が直面している問題を知り、「豊かさ」について考えることの意義を理解する。 2. 持続可能な未来設計には、ひとりひとりの価値転換と行動が重要であることを知る。 3. 世界一の幸福国や日本における生活の質向上の実践例から、自分(達)にとっての将来ビジョンと課題を発見する。
授業の到達目標	1. 経済価値だけでなく、生活の質の観点から、人づくり、ものづくり、社会づくりを見直すことができるようになる。 2. 多様な領域の専門知識や応用実践が、地域社会や国際社会の豊かさにとどう結びつくのかを、説明することができるようになる。 3. 豊かな社会の創出のために、自分(達)にとって出来る事は何かを考え、行動目標を立てることができるようになる。
授業の概要	『豊かさ』を統一テーマに、愛媛県内11大学が共同で本授業を開講します。各大学の教員の専門領域を生かして共同で授業を行い、他大学の学生とともに、愛媛大学で受講します。豊かな社会づくりにむけて、持続可能な社会、大学による人的育成、身体と健康、食生活、高齢者や障害者への福祉的支援、国際社会と住民主体の開発など、多様な内容を取り上げ、「人・もの・社会」を育むクオリティデザインのあり方について理念と実践の両面から学んでいきます。
授業スケジュール	90分を1コマとする以下の15コマの授業が、4日間の集中講義(5日目は予備日)の形態で実施される(場所:愛媛大学)。 開講時間：1時限目：9:00～10:30、2時限目：10:45～12:15、3時限目：13:15～14:45、4時限目：15:00～16:30 9月2日(月)10時:ガイダンス【松山東雲短期大学 教授 吉川研一】 9月2日(月)2時限目(1コマ):貧困、開発、民主主義【松山東雲女子大学 教授 森 日出樹】 9月2日(月)3、4時限目(2コマ):国際社会における地域の役割と私たちの暮らし【松山大学 教授 松浦一悦】 9月3日(火)1、2時限目(2コマ):自校史から豊かさを考える。【松山大学 教授 平田桂一】 9月3日(火)3、4時限目(2コマ):持続可能な未来の設計～暮らしの価値を量よりも質へとシフトしよう！～ 【愛媛大学 准教授 小林 修】 9月4日(水)1時限目(1コマ):運動と身体の豊かさ【環太平洋大学短期大学部 准教授 椿 武】 9月4日(水)2時限目(1コマ):高齢者のQOL向上を目指した福祉のまちづくり～マッピング技法を用いた元気な高齢者増加作戦～【聖カタリナ大学 講師 高杉 公人】 9月4日(水)3時限目(1コマ):「世界一の幸福国」デンマークの豊かさ【愛媛県立医療技術大学 准教授 窪田 静】 9月4日(水)4時限目(1コマ):障害者と家族の抱える困難及び福祉的支援【松山東雲女子大学 准教授 高阪 悌雄】 9月5日(木)1時限目(1コマ):今どきの食事風景【今治明德短期大学 教授 藤田正隆】 9月5日(木)2時限目(1コマ):食とQOL【松山東雲短期大学 講師 伊藤 俊輔】 9月5日(木)3、4時限目(2コマ):えひめの食を基に自らの食と健康を考える【愛媛大学 講師 垣原 登志子】 9月6日(金):予備日
授業時間外学習にかかわる情報	予習・復習が必要である。「手引き」に従って予習を行う。また、授業で課されるレポートを期限内に提出する。
受講のルール	出席が授業開講時間数の3分の2以上なければ評価しない。 授業後のレポートなどの提出が課された場合には、期限・提出方法を厳守し、必ず提出すること。 授業時間毎に配布される「出席カード」に記入し必ず提出すること。「出席カード」の提出がない場合には、レポートの提出があっても0点とする。
教材に関わる情報	各大学にて事前に「手引き」を受領すること。授業中にも、適宜資料等が配付される。
評価にかかわる情報	授業中のテスト又は授業後のレポートにより評価される。 1コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は100点満点、同一教員が連続して2コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は200点満点とする。計15コマの点数を合計(1500点満点)し、その結果を100点満点に換算して成績評価とする。
台風の際の取り扱い	台風による暴風警報が、午前7時の時点で松山市に発令された場合は午前中の授業は中止とする。11時の時点で暴風警報が解除になれば午後の授業は行う。11時の時点で松山市に発令されていれば午後の授業は中止とする。 愛媛大学及び各々の学生が所属する大学に問い合わせでも答えられないため、個々でNHKニュース、気象庁のホームページ(事前に配布される「手引き」参照)など、公的な機関からの情報を得ること。 中止された授業は、予備日の9月6日(金)に実施する。なお、開講時間はそのままとする。
その他	愛媛県内11大学が共同で授業を実施する。各大学の教員による様々な側面からの授業を愛媛大学で受講できる。さらに、他大学の学生とのグループディスカッションや交流をもつ機会となる。

平成25年度大学コンソーシアムえひめ共同授業日程表

メイン・テーマ：『豊かさ』について考える in EHIME ～「人・もの・社会」を育むクオリティデザイン～

場 所： 愛媛大学グリーンホール 平成25年9月2日(月)～9月5日(木)・予備日 9月6日(金)

	9				10				11				12				13				14				15				16	
	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30
9月2日 (月)			受付		ガイダンス		休憩		講義1 貧困、開発、民主主義 松山東雲女子大学 森 日出樹 先生		休憩		講義2 国際社会における地域の役割 と私たちの暮らし 松山大学 松浦 一悦 先生		休憩		講義3 国際社会における地域の役割 と私たちの暮らし 松山大学 松浦 一悦 先生													
9月3日 (火)	講義4 自校史から豊かさを考える。 松山大学 平田 桂一 先生					休憩		講義5 自校史から豊かさを考える。 松山大学 平田 桂一 先生		休憩		講義6 持続可能な未来の設計 ～暮らしの価値を量よりも質へとシフトしよう！～ 愛媛大学 小林 修 先生		休憩		講義7 持続可能な未来の設計 ～暮らしの価値を量よりも質へとシフトしよう！～ 愛媛大学 小林 修 先生														
9月4日 (水)	講義8 運動と身体の豊かさ 環太平洋大学短期大学部 椿 武 先生					休憩		講義9 高齢者のQOL向上を目指した福祉のまちづくり ～マッピング技法を用いた元気な高齢者増加作戦～ 聖カタリナ大学 高杉 公人 先生		休憩		講義10 「世界一の幸福国」 デンマークの豊かさ 愛媛県立医療技術大学 窪田 静 先生		休憩		講義11 障害者と家族の抱える困難及び 福祉的支援 松山東雲女子大学 高阪 悌雄 先生														
9月5日 (木)	講義12 今どきの食事風景 今治明德短期大学 藤田 正隆 先生					休憩		講義13 食とQOL 松山東雲短期大学 伊藤 俊輔 先生		休憩		講義14 えひめの食を基に自らの食と 健康を考える 愛媛大学 垣原 登志子 先生		休憩		講義15 えひめの食を基に自らの食と 健康を考える 愛媛大学 垣原 登志子 先生														

大学別受講者数一覧

大学名	収容定員	受講定員	申込者数
愛媛大学	7,506	90	61
松山大学	5,740	70	7
松山短期大学	200	10	12
聖カトリック大学	880	10	32
聖カトリック大学短期大学部	200	10	19
愛媛県立医療技術大学	340	10	74
今治明德短期大学	300	10	2
環太平洋大学短期大学部	200	10	5
松山東雲女子大学	540	10	13
松山東雲短期大学	580	10	7
放送大学愛媛学習センター	若干名	若干名	0
合 計	16,486	240+ α (上限 288)	232

講義題目及び担当講師

講義1	貧困、開発、民主主義	松山東雲女子大学 教授 森 日出樹
講義2	国際社会における地域の役割と私たちの暮らし	松山大学 教授 松浦 一悦
講義3		
講義4	自校史から豊かさを考える。	松山大学 教授 平田 桂一
講義5		
講義6	持続可能な未来の設計 ～暮らしの価値を量よりも質へとシフトしよう！～	愛媛大学 准教授 小林 修
講義7		
講義8	運動と身体の豊かさ	環太平洋大学短期大学部 准教授 椿 武
講義9	高齢者の QOL 向上を目指した福祉のまちづくり ～マッピング技法を用いた元気な高齢者増加作戦～	聖カタリナ大学 講師 高杉 公人
講義10	「世界一の幸福国」デンマークの豊かさ	愛媛県立医療技術大学 准教授 窪田 静
講義11	障害者と家族の抱える困難及び福祉的支援	松山東雲女子大学 准教授 高阪 悌雄
講義12	今どきの食事風景	今治明德短期大学 教授 藤田 正隆
講義13	食と QOL	松山東雲短期大学 講師 伊藤 俊輔
講義14	えひめの食を基に自らの食と健康を考える	愛媛大学 講師 垣原 登志子
講義15		